


<p><1 テーマ></p>	<p><3 成果指標と実績></p>																																															
<p>印高(高きを仰ぐ)の精神の涵養 ～校内外の学習活動を通して主体性を育む～</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>初期値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①授業への取組 2年</td> <td>26%</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>32%</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>①平日学習時間 2年</td> <td>2.06</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>2.23</td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>①休日学習時間 2年</td> <td>3.20</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>3.52</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>③授業で力が 2年</td> <td>8%</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>ついた実感 1年</td> <td>12%</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td>①難関国公立大学の受験者数</td> <td>140人</td> <td>140人</td> </tr> <tr> <td>②外部連携による探究活動 参加生徒数</td> <td>90人</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>②大学進学を目的とした補習 参加生徒数</td> <td>830人</td> <td>850人</td> </tr> <tr> <td>③難関国公立大学の合格者数</td> <td>69人</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>①難関国公立大学の志願者数</td> <td>160人</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>③キャリア意識の高まりと 進路目標の設定</td> <td>今後 策定</td> <td>今後 策定</td> </tr> </tbody> </table>			成果指標	初期値	目標値	①授業への取組 2年	26%	40%	1年	32%	40%	①平日学習時間 2年	2.06	2.5	1年	2.23	2.5	①休日学習時間 2年	3.20	3.5	1年	3.52	3.6	③授業で力が 2年	8%	15%	ついた実感 1年	12%	18%	①難関国公立大学の受験者数	140人	140人	②外部連携による探究活動 参加生徒数	90人	150人	②大学進学を目的とした補習 参加生徒数	830人	850人	③難関国公立大学の合格者数	69人	70人	①難関国公立大学の志願者数	160人	160	③キャリア意識の高まりと 進路目標の設定	今後 策定	今後 策定
成果指標	初期値	目標値																																														
①授業への取組 2年	26%	40%																																														
1年	32%	40%																																														
①平日学習時間 2年	2.06	2.5																																														
1年	2.23	2.5																																														
①休日学習時間 2年	3.20	3.5																																														
1年	3.52	3.6																																														
③授業で力が 2年	8%	15%																																														
ついた実感 1年	12%	18%																																														
①難関国公立大学の受験者数	140人	140人																																														
②外部連携による探究活動 参加生徒数	90人	150人																																														
②大学進学を目的とした補習 参加生徒数	830人	850人																																														
③難関国公立大学の合格者数	69人	70人																																														
①難関国公立大学の志願者数	160人	160																																														
③キャリア意識の高まりと 進路目標の設定	今後 策定	今後 策定																																														
<p><2 取組方法></p>																																																
<p><生徒の学力向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ○専門家の講話を聴き、仕事のやりがいや課題を知り、広い視野を持って社会に貢献できるリーダーを育成する。 ○机上の学問だけでなく、体験を積むキャリア教育を進め、進路意識を高める。 ○留学や英語ディベート等を通して文化の異なる人々と交流ができる国際人を育成する。 ○科学講座や医学講座に参加して科学に関心を高め、課題を発見する態度を養う。 <p><教員の指導力向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ○求められる教育について研修し、深い学びを研究する。 ○授業では、生徒が常に頭を働かせて学問に興味を持ち、追究してみたいくなる仕掛けを行う（発問の工夫）。 ○生徒の体験活動への機会を積極的に提供する。 ○部活動等を通して意欲ある生徒を支援し、能力を伸ばす指導を行う。 																																																

<4 特徴的な取組>

生徒の体験活動 I




エンパワーメントプログラム

8/20(月)～24(金) 48人参加。
外国人大学生と5日間、学校でグループごと英語だけの討論や活動を体験。英語が苦手な生徒にも自信が付き、自らの英語でコミュニケーション能力を伸ばす取組。英語の4技能向上。

医学講座

医学科志望者対象、講師は現職医師

9月～2月、年4回。医療現場の実態、医療に向ける心構え、職務の使命感を学ぶことで医学的知識を深め、高い倫理観や使命感を持った医学科志望者を育てる。



PDA東海公立高校即興型英語ディベート交流大会（会場：岐阜高校）

6/16（土）、本校から10人参加、岡崎・岐阜・四日市高校と対戦（交流）

5/15(火)事前練習会(大阪府大講師、名古屋大学生等)

- * 1, 2年生の希望者を集め、事前練習で英語ディベートの基礎を学び、大会に出場
- * 英語ディベートを通して英語4技能の向上
- * 国際交流に向けた積極的な態度を育成

生徒の体験活動Ⅱ



東大キャンパスツアー



JAXA見学



留学発表会

東大キャンパスツアー

本校独自の企画、OB教員・OB学生を訪問、JAXAも訪問、82人参加。
6/5(火)、6(水)
研究室を訪ね、夜にはOBと座談会を開くことで関心と意欲を高める。

海外研修への積極的参加

(選出/応募 人)

モンゴル高校生交流0/5人、高校生の海外体験促進事業(カリフォルニア大学3/5人、ジョージタウン大学1/1人)、「トビタテ」等留学事業の積極的紹介(個人短期留学1人)：高校時代から留学することで国際感覚を養い、海外への意識を高める。
→9/19(水)留学発表会：各自プレゼンし、表現力の向上を目指す。

大学科学講座 名古屋大学G S C 2/7人、静岡大学F S S 1/1人、県立大薬学部ファーマカレッジ3/5人生徒に案内し、自然科学部を中心に希望者が参加し、数名が難関を突破した。(選出/応募 人)

高校生のための金曜特別講座

(東大教養学部による公開講座中継) 5月～12月
前期6回、後期7回、希望者対象。東大講師や他高校生とスカイプの相互交信を利用したライブ講座。

進路講演会 10/19(金)

1, 2年生全員、多分野の社会人講話(卒業生12人) 関心のある分野の専門家から仕事のやりがいと課題を聞くキャリア教育。

教育講演会

5/11(金)全員参加
東大院農学生命科学研究科磯貝明教授「農学生命科学研究の現状」

土曜授業年17回、進学講習

教員の指導力向上

職員研修

「進学校の特色ある教育」をテーマに京大教授や教育ジャーナリストを講師に招請。
地方公立名門校の取組をもとに対話的活動やキャリア教育の重要性について理解し、本校のこれからの教育について研修。
6/28、8/30 *校内研修を他校にも開放。



京大教授による研修

県外学校視察

進学校における特色ある教育の研究
地方公立名門校と呼ばれる13校の視察。教員の資質向上と情報共有。

新学習指導要領、
大学入試改革の研究

<5 成果と今後の方向性>

今回の取組で本予算を利用したのは上記の一部の事業だけだが、本事業に影響されてそれ以外の取組が新たに始まったり、これまでの取組に充実度が加わったりした。高い潜在能力を持つ生徒たちであるため、体験活動の機会を与えれば積極的に参加し、成果を挙げることが実証された。教員にも自ら進んで研修に参加したいという主体的な意欲が生まれ、資質能力の向上に向けた取組が進んでいる。

教員が研修を積んで授業改善を進めたり、意欲ある生徒を支援したりすることで、生徒が発展的に学習に向かう態度が育成される。教師側の教育力と生徒の意欲的な学習活動が融合すると効果が上がる。今後も本事業を活用し、多様な体験を通じたキャリア教育や深い学びを推進し、これからの教育の本質を追究していく。